

# 国土交通省版・景観シミュレータの活用実績と、今後の応用

## 技術概要

○国土交通省が開発したフリーウェアで、普通のパソコンを使用して簡単に景観検討を実施

○道路・橋梁、河川、都市、ダムその他様々な事業に適用可能です（内部検討、情報公開）

- ・ 景観総プロ(平成5～8年)に基本部分を開発し、その後現場での使用を通じてデバッグ・改善を進めてきました。
- ・ デジカメ画像を用いた簡便な写真合成作業から、本格的な GIS ベースの空間検討まで幅広く利用可能です。
- ・ 一般の事務用パソコンで可能。CAD、GIS 経験の無い、時々必要に応じて操作するユーザーを想定しています。
- ・ 景観データベースにより、既存の様々な部品を利用し、手軽に景観検討できます。
- ・ CAD データ、GIS データ、CG ソフト等とのデータ交換機能を向上させました。
- ・ 韓国との共同研究を通じ、国際化対応（日本語依存部分の整理）、現場適用のノウハウを交換。
- ・ 国土技術政策総合研究資料でマニュアルを出版した他、使用方法について、インターネットからも入手可能です。

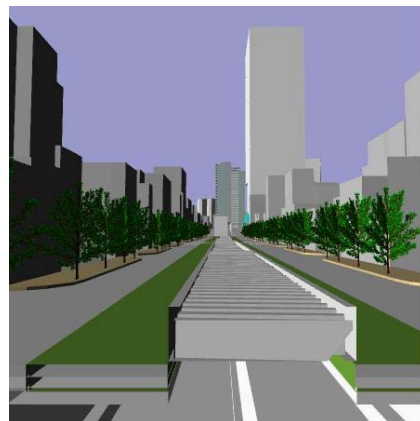
## 適用事例

○土木系・建築系のモデル現場における適用

○平成13年度に公募した15のまちづくり現場で、計画内容公開＋コミュニケーションを実施

年次	事業	概要
1996	福岡県住宅供給公社峯花台団地建替(住宅)	現場事務所で、再入居予定者を対象に実験実施
1996	福島工事事務所(当時)(橋梁・道路・河川・公園)	周辺部の地形を含め、本格的な3次元データを作成、川原の砂利、周辺の樹木、近景・遠景などを再現
1997	沖縄北部ダム	空中写真から作成した地形データを利用
1997	福井駅前再開発	北陸テクノフェアに出展
1997	三陸国道	周辺地形＋市街地＋施設のデータを作成
1998～	福島都心東土地区画整理	現場事務所の担当者による本格的なデータ作成と地元説明への活用
1999～	幕張駅東口土地区画整理	コンサルタントから派遣職員による現況・計画案データの作成
2001	まちづくり・コミュニケーション実験	15の現場で3次元データを構築し、コミュニケーションを実施
2002	みちのく国営公園	GISと連動させつつデータ作成中

例1：市街地再開発・連続立体等（2001：学生等のクリエイターが、景観シミュレータのみを用いてモデリング）



ステレオ空中写真から作成した地形＋市街地の上に、再開発建物、及び地下の道路を作成。幾何学的演算を行い、既存の建物・地形から不要となる部分を削除して合成した。結果は、インターネットを通じて配信し、これに関する意見を、テキスト、画像、三次元データの形で受け付け、提案としての適切さを審査した上で掲示板に公開する。

## 今後の応用

○様々な行政手続きの中への応用

○ライセンスの制約がない部品として、大きなシステムの中に組み込んで利用

実務面：各種現場への応用事例を広げ、マニュアル・サンプルデータなどの拡充と普及に努めます。今後は、実際の景観検討が必要となる行政上の手続きとの関連を重視します。

技術面：また、このために、実際の実務に即した機能・操作性の向上に努めます。また、ライセンスの制約のない部品として、三次元処理に関係する、より大きなシステムに組み込んで活用していくことが可能です。

国土技術政策総合研究所 National Institute for Land and Infrastructure Management

〒305-0804 茨城県つくば市旭1 [URL:http://sim.nilim.go.jp/MCS](http://sim.nilim.go.jp/MCS)

問合せ先：高度情報化研究センター 住宅情報システム研究官 Tel:029-864-4433 E-mail:keikan2@nilim.go.jp

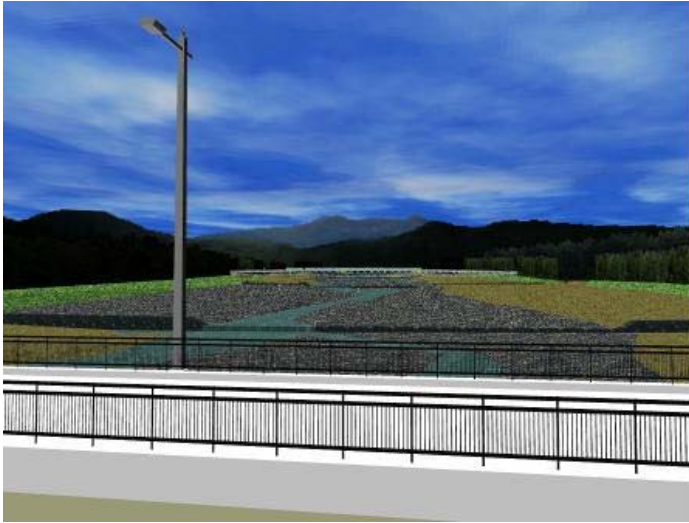
環境研究部

緑化生態研究室

Tel:029-864-2742 E-mail:keikan@nilim.go.jp

## 国土交通省版・景観シミュレータの活用実績と、今後の応用

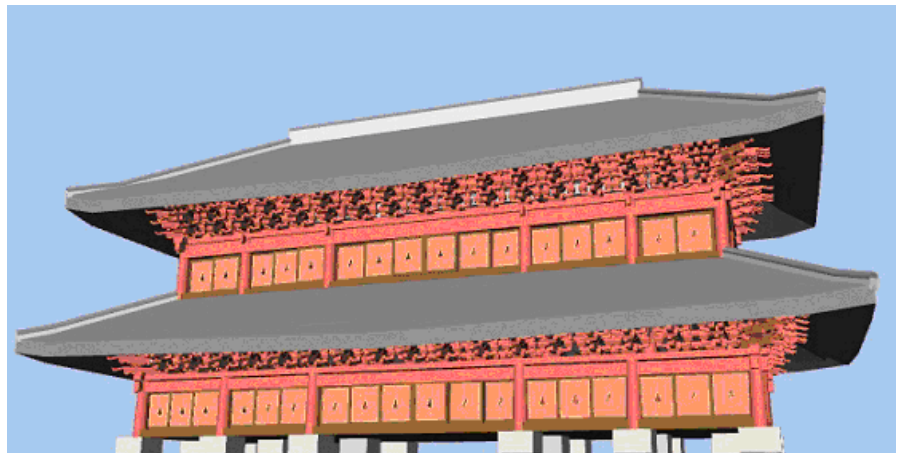
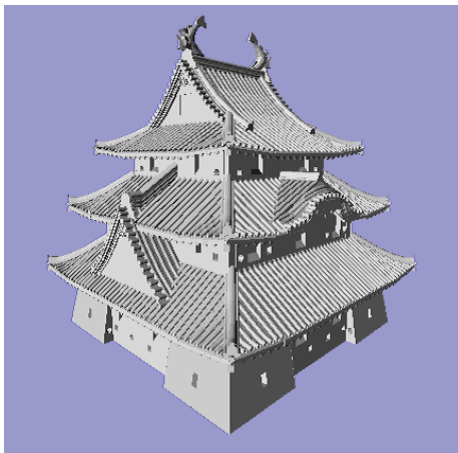
例 2 : 川原の形状・砂利のテクスチャまで再現。



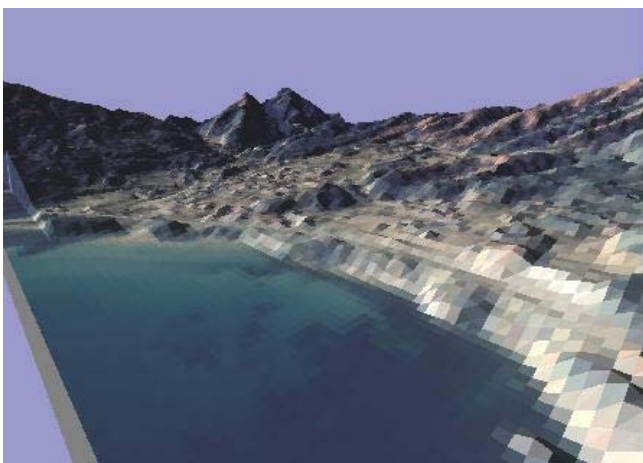
例 3 : ジャンクション



例 4, 5 : 部品から構築して建築物を作成した例



例 6 : GIS データとの連携



例 7 : 自然の山林を再現した例



国土技術政策総合研究所 National Institute for Land and Infrastructure Management

〒305-0804 茨城県つくば市旭 1 [URL:http://sim.nilim.go.jp/GE](http://sim.nilim.go.jp/GE)

問合せ先：高度情報化研究センター 住宅情報システム研究官 Tel:029-864-4433 E-mail:keikan2@nilim.go.jp

環境研究部 緑化生態研究室 Tel:029-864-2742 E-mail:keikan@nilim.go.jp